

みつけ通信

珠洲市立宝立小中学校だより
令和4年6月号



〒927-1222
珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地
TEL 0768 (84) 1106・(84) 1119

心を育てる

校長 時兼 秀充

6月は旧暦では水無月と呼ばれます。雨がたくさん降る月なのに、水が無い月と書くのは不思議だと子どもの頃は考えていました。その後「無」という字は無いという意味ではなく「の」にあたる助詞だとわかり、それからは6月＝水無月ということが自分の中で定着するようになりました。田んぼに水を引く月、水の月となり、これからはじめじめとした蒸し暑い日が続くと思いますが、子ども達には気持ちはいつも晴れやかに学校生活を送ってほしいと願っています。

5月の集会では、目標を持って、それぞれが成長し、充実した学校生活を送るためにも、「D語（でも、だって、どうせ）よりY語（よーし、やるぞ、喜んで）でいこう」と話しました。ローマ字で書いたときにDで始まる後ろ向きな言葉は、その後に自己否定の言葉が出てきます。逆にYで始まる前向きな言葉には、プラスの力があります。その場にいる人を明るい気持ちにさせるだけではなく、自分自身も明るい気持ちになります。コロナ禍の中でD語がよく使われがちですが、何事もどうせやるなら、前向きな心で取り組んでほしいと思います。そして前向きなY語があふれる学校にしていきたいと思います。

さて、学校の花壇や畑には、花や野菜がたくさん植えられています。その植物の芽も少しずつ生長し、子供達は、登校するとすぐ栽培している鉢や畑に行き、植物の生長を観察したり、水やりをしたりしています。



植物を栽培する体験は、人として大切な「育てる」ことを学ぶことができると思います。植物という相手の存在を認めること、自分の思い通りにならないことがあること、生長するには時間がかかること、育てるためには待つことや辛抱することも大切であること、そして、毎日の継続した働きかけが何よりも必要であることなど、栽培活動を通して「育てる」ために大切なことを学んでいくのではないかと思います。また、植物が生長し花が咲いたり、実が実ったりすることで、喜びや達成感を味わいます。そして、生長に時間のかかる植物とのつきあいで辛抱強さを培い、自分が世話をし、面倒をみているという植物との関わりで責任感が養われ、花やできた野菜を喜んでくれる人がいることによって、やりがいを感じるができるのではないかと思います。このように、栽培活動を通して、多くのことを学びそして自分自身も育てている（育てられている）のではないのでしょうか。

毎日の水やりの中で、「芽が出たね!」「成長したね!」などと、子ども達が植物の生長にわくわくし、互いに言葉を掛け合ったり、植物に話しかけたり、何気ない中にも意味があります。そして何よりも世話をしている子ども達誰もが優しい目で見つめています。栽培活動を通して秋には子ども達の心が成長していることを期待しています。

6月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 学校・PTA・地域行事等 |
|----|---|----------------------------------------------|
| 1 | 水 | 交通安全指導 安全点検 小委員会 尿検査（二次） |
| 3 | 金 | 全校集会 |
| 6 | 月 | 読書ボランティア 教育実習（室谷先生～6月24日） |
| 8 | 水 | 体育交歓会 |
| 9 | 木 | 生き物観察会（3年生） |
| 12 | 日 | 能登地区大会（バスケット） |
| 14 | 火 | 給食試食会（1年生） 授業参観 非行被害防止講座 懇談会 PTA 理事会・各委員会 |
| 15 | 水 | 交通安全指導 定時退校日 |
| 18 | 土 | 能登地区大会（野球、テニス、バスケット） |
| 19 | 日 | 能登地区大会（野球、テニス、バスケット） |
| 21 | 火 | 奥能登教育事務所計画訪問（13：15完全下校） |
| 22 | 水 | 不審者対応避難訓練（5限小学生・6限中学生） 集金日 |
| 28 | 火 | 小中委員会 |
| 29 | 水 | 施設めぐり（5年生） 小クラブ |
| 30 | 木 | 山田貞二先生来校 道徳科校内研究会 |



☆自分の可能性を信じて…！

5月20日に小中別集会がありました。中学校集会において、はじめに奥能登中学校ソフトテニス大会男子団体3位の表彰式が行われました。その時に、校長先生から次のようなお話がありました。『男女とも試合を重ねるごとに、動きがよくなっているように感じました。また、自信にもつながっているようでした。その姿を見ながら思ったのが、皆さんは物事に取り組むときに、「自分はこれくらいしかできないのではないか？」と自分の物差しを決めつけていないかということです。そういう考えが、本来伸ばすことのできる自身の可能性を奪ってしまうことになるのです。自信をもって取り組み続けることで、自分の可能性を十分に伸ばすことができるのです。これは勉強や様々な活動場面でも言えることですから、ぜひそういう気持ちを大事にして頑張ってみてください。そして、可能性をしっかりと伸ばしてください。』



児童・生徒の皆さんの学校生活は、始まって2か月足らずでまだまだ先があります。今一度自分を見つめ直し、それぞれの可能性を信じて、勉強や運動、学校の様々な活動においていろいろなことに挑戦し、「自分はできるんだ!」と思える充実した学校生活を送っていきましょう。保護者、地域の方、先生方も応援しています。

◇火災想定避難訓練 全校

4月21日(木)1限目に火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は「避難する際は非常階段を利用する」「実際に防火扉を閉める」ことにして行いました。児童・生徒は先生方の支持に従い、静かに速やかに避難場所まで移動することができました。教職員も各自の役割をしっかりと果たし、短時間で任務を完了することができました。実際に想定して本格的に取り組んだことにより、「防火扉の開閉の難しさ」や「非常階段を使用する効率性」等について学ぶことができました。いろいろな訓練を通して、児童・生徒、職員ともに自分や仲間を守る力をつけていきたいと思えます。



◇授業参観・PTA総会・学級懇談会 全校

4月22日(金)に授業参観、PTA総会、学級懇談会が行われました。授業参観では、保護者の皆様が見守る中で普段以上に張り切る姿や真剣な姿で授業に参加する姿が見られました。総会では、皆様のご協力の下大変スムーズに本年度の方針を決めることができました。学級懇談会では、学校と家庭での様子について情報交換がなされ、今後の学校生活の向上につながる貴重な時間となりました。多数の保護者の皆様にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。今後ともご協力お願いいたします。



◇交通安全教室 前期課程

4月26日(火)、小学生を対象に交通安全教室を行いました。今年度も交通安全協会、珠洲警察署、めだか交通の皆様に来ていただきました。

交通安全協会宝立支部長、江高様の講話に続き、1・2年生はめだか交通様によるバスの死角について説明を聞き、実際に運転席に座り、体験しました。その後、校舎前の横断歩道で安全歩行と道路横断練習をしました。3～6年生は珠洲警察署の皆様によるアドバイスのもと、運動場で自転車安全走行練習を行いました。その後、バスの死角についてのお話や事故に逢いそうな映像を視聴し、交通安全について学習しました。学んだことを生かして、交通事故に逢わないよう気をつけて生活していきましょう。



◇富山方面への修学旅行 9年生

4月26日(火)、9年生が富山方面へ1泊2日の修学旅行に行ってきました。総合的な学習の時間の学びに生かせるようにと、事前に目的とテーマを決めてツアーを実行しました。テーマは「自然とふれあい、未来につながる、宝立1のファーストペンギン」で、目的は「珠洲との自然の違いを感じる」「EMTB(電動アシスト付きマウンテンバイク)ツアーづくりの参考にする」「各自が率先して行動する」の3つです。

旅程については、まず美術館やファミリーパークなど観光地を巡りました。また、EMTBで山道を走るなど自然体験はもちろんのこと、山菜がメインの豪華な食事や滝行、メディアのない生活なども体験しました。



『「オワコン(終わったコンテンツ)をゾッコン(魅力的にする)」という言葉は今でも覚えています。』佐藤さんによる「地域のブランド力」という講話を聞いての生徒の感想です。あっという間の2日間でしたが、充実した思い出深い修学旅行になったようです。



◇1年生を迎える会 前期課程

5月6日(金)、6名の1年生を迎える会を行いました。インタビューでは、上級生たちが見守る中、緊張した面持ちで、「名前、好きな食べ物、好きな勉強、がんばりたいこと」を上手に言うことができました。○×クイズ、ドラキュラゲームでは、とても盛り上がり、親睦を深めることができました。今回、6年生が企画・進行を担当し、大変立派に行うことができました。これからも、前期課程の児童たちをどんどん引っ張って行ってほしいと思います。



◇児童生徒総会 4～9年生

5月10日(火)5限目に、令和4年度児童生徒総会が開催されました。本年度も感染症対策のため、4～9年生の児童生徒で行いました。体育館に集まり、本年度の活動方針を決めました。今年のスローガンは、「STEP UP」です。

「宝立小中学校の児童生徒が、児童生徒会活動に積極的に取り組み、楽しくて充実した学校生活を送ることができるように…」という生徒会長の挨拶にはじまり、協議事項では各学級から多くの意見や質問が出され、活発な討議が行われました。全員で進める児童生徒会です。実現に向けてSTEP UPしていきましょう。

